



アンドリュー・キンブレールさん

日時 11月21日(土)

10:30~16:00

開場 10:00

場所 東京国際交流館プラザ平成

国際交流会議場 275席

最寄り駅 ゆりかもめ「船の科学館」東出口より徒歩約3分

参加費 1,000円

国際シンポジウム2015

「消費者が選べる遺伝子組み換え食品表示をめざして」

第1部では、米国における遺伝子組み換え食品表示法成立に至った経緯と課題。韓国におけるより厳格な食品表示基準の改正に至った背景、韓米FTAにより遺伝子組み換え食品表示にどのような影響を及ぼしたか等について学びます。第2部では、日本の食品表示の問題点を明らかにし、消費者が求める食品表示を提起し、パネルディスカッションでは会場からの意見も取りこみながら、めざすものについて意見交換します。ぜひ、ご参加ください。



イ・ジェウクさん

プログラム

同時通訳あり

10:30 第1部: 遺伝子組み換えの表示をめぐる海外の状況

- 🚩 はじめに 「日本の食品表示法の問題点」
神山美智子 弁護士、食品表示を考える市民ネットワーク代表
- 🚩 米国 バーモント州 GM 表示法のゆくえ、遺伝子組み換え食品流通の現状
講師: アンドリュー・キンブレールさん 米国食品安全センター事務局長
- 🚩 韓国 韓米 FTA による GM 表示の影響、国産農産物を食べる運動と実践事例
講師: イ・ジェウクさん 韓国 GMO 反対生命運動連帯執行委員長、農漁村社会研究所所長

※要申込み
席が埋まり次第、申込みを締め切らせていただきます。

13:00 昼食休憩

14:00 第2部: さよなら遺伝子組み換え食品 生産者と消費者が力をあわせて

- 🚩 問題提起 日本の食品表示法(GM表示)の状況、グローバルな食品流通の中で問われる日本の食品表示
西分千秋 食品表示を考える市民ネットワーク事務局長・たねと食とひと@フォーラム共同代表
- 🚩 パネルディスカッション「生産者と消費者をつなぎ、知り・選べる食品表示をめざして」
コーディネーター 岡本よりたかさん 自然栽培農家・空水ビオファーム八ヶ岳
パネリスト 講師、消費者
- 🚩 行動提案 西分千秋
- 🚩 おわりに 山浦康明 食品表示を考える市民ネットワーク副代表

16:00 閉会

共催: 食品表示を考える市民ネットワーク/たねと食とひと@フォーラム/生活クラブ事業連合生活協同組合連合会/グリーンコープ共同体/パルシステム生活協同組合連合会/市民セクター政策機構/生活クラブ親生会/戸川雅子/他

協賛: 米香房 Gratiass/生活協同組合パルシステム東京/ルナ・オーガニック・インスティテュート/オルター・トレード・ジャパン/主婦連合会/家庭栄養研究会/APLA/ふるむあーすカフェ・オハナ/カフェスロー/矢ノ目糶屋/松本清/食の安全・監視市民委員会/東京都地域消費者団体連絡会/他 (10/23 現在)

申込み先: たねと食とひと@フォーラム

Tel 03-6869-7206 Fax 03-6869-7204 Email: info@nongmseed.jp

この企画は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

